

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第68期第3四半期（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社 銀座山形屋
【英訳名】	GINZA YAMAGATAYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山形 政弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目5番4号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区関町北二丁目3番20号(管理部)
【電話番号】	03(6680)8711(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 渡辺 光潤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第57期（平成13年3月31日）から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日））を適用し、会計基準変更時差異（218,821千円）を一括費用処理しておりますが、一部従業員（定年退職者等）の退職給付引当金の計上に関して、会社都合要支給額に基づく退職給付引当金を計上すべきところを、自己都合要支給額に基づき退職給付引当金を計上していたことにより、退職給付引当金の計上不足の状態になっていました。

その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当社として今回の訂正を行うことといたしました。

なお、本件発生原因は、経理部門・人事部門と社外専門家とのコミュニケーション不足並びに基礎資料のチェック不足等が主たる要因と考えます。今後は関係者間のコミュニケーションの充実、基礎資料の妥当性・算出プロセスのダブルチェック等の励行を強化し再発防止に努めます。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

###### 四半期連結損益計算書

###### 四半期連結包括利益計算書

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

###### (四半期連結損益計算書関係)

###### (株主資本等関係)

###### (セグメント情報)

###### (1株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第67期 第3四半期連結 累計期間	第68期 第3四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,416,019	3,173,354	4,362,773
経常損失( )(千円)	<u>63,516</u>	<u>39,988</u>	<u>204,693</u>
四半期(当期)純損失( )(千円)	<u>275,700</u>	<u>72,580</u>	<u>405,635</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	<u>311,615</u>	<u>62,347</u>	<u>483,152</u>
純資産額(千円)	2,817,606	2,708,342	2,646,044
総資産額(千円)	4,494,414	4,357,332	4,000,531
1株当たり四半期(当期)純損失金額( )(円)	<u>15.97</u>	<u>4.20</u>	<u>23.49</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>62.7</u>	<u>62.1</u>	<u>66.1</u>

回次	第67期 第3四半期連結 会計期間	第68期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	<u>6.71</u>	<u>9.37</u>

~後略~

(訂正後)

回次	第67期 第3四半期連結 累計期間	第68期 第3四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,416,019	3,173,354	4,362,773
経常損失( )(千円)	<u>53,068</u>	<u>52,877</u>	<u>189,073</u>
四半期(当期)純損失( )(千円)	<u>265,252</u>	<u>85,468</u>	<u>390,015</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	<u>301,167</u>	<u>49,458</u>	<u>467,532</u>
純資産額(千円)	2,703,758	2,586,778	2,537,369
総資産額(千円)	4,494,414	4,357,332	4,000,531
1株当たり四半期(当期)純損失金額( )(円)	<u>15.36</u>	<u>4.95</u>	<u>22.59</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>60.2</u>	<u>59.4</u>	<u>63.4</u>

回次	第67期 第3四半期連結 会計期間	第68期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	<u>7.04</u>	<u>9.31</u>

～後略～

## 第2【事業の状況】

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

～前略～

経営成績につきましては、売上高は退店等の影響等により31億7千3百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。利益面については前期に引き続き売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。営業損失1億3千7百万円（前年同四半期は1億3千万円の営業損失）となりました。また、主に受取配当金3千3百万円や助成金収入2千6百万円等があったこと等により経常損失は3千9百万円（前年同四半期は6千3百万円の経常損失）となりました。四半期純利益については減損損失8百万円の計上等及び法人税等2千1百万円の計上により、四半期純損失7千2百万円（前年同四半期は2億7千5百万円の四半期純損失）となりなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高14億9千7百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失1億3千7百万円（前年同四半期は1億4千4百万円のセグメント損失）、卸売事業が売上高11億6千2百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失4千3百万円（前年同四半期は3千9百万円のセグメント損失）、受託縫製事業が売上高4億8千7百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント損失1千5百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント利益）となりました。

～後略～

(訂正後)

(1)業績の状況

～前略～

経営成績につきましては、売上高は退店等の影響等により31億7千3百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。利益面については前期に引き続き売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。営業損失1億5千万円（前年同四半期は1億2千万円の営業損失）となりました。また、主に受取配当金3千3百万円や助成金収入2千6百万円等があったこと等により経常損失は5千2百万円（前年同四半期は5千3百万円の経常損失）となりました。四半期純利益については減損損失8百万円の計上等及び法人税等2千1百万円の計上により、四半期純損失8千5百万円（前年同四半期は2億6千5百万円の四半期純損失）となりなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高14億9千7百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失1億4千万円（前年同四半期は1億4千4百万円のセグメント損失）、卸売事業が売上高11億6千2百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失4千6百万円（前年同四半期は4千万円のセグメント損失）、受託縫製事業が売上高4億8千7百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント損失1千5百万円（前年同四半期は1千2百万円のセグメント利益）となりました。

～後略～

## 第4【経理の状況】

(訂正前)

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	699,126	690,263
受取手形及び売掛金	404,647	537,454
商品及び製品	166,520	170,292
仕掛品	15,229	20,783
原材料	142,224	143,937
その他	76,251	104,502
貸倒引当金	4,710	2,454
流動資産合計	1,499,288	1,664,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	151,762	174,763
その他(純額)	274,309	306,206
有形固定資産合計	426,071	480,969
無形固定資産		
その他	10,431	9,314
無形固定資産合計	10,431	9,314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,010,416	1,162,818
敷金及び保証金	826,217	823,992
その他	342,101	313,847
貸倒引当金	113,996	98,390
投資その他の資産合計	2,064,739	2,202,267
固定資産合計	2,501,243	2,692,551
資産合計	4,000,531	4,357,332
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	181,766	343,795
未払法人税等	11,178	16,599
ポイント引当金	36,735	32,089
その他	302,435	405,514
流動負債合計	532,116	797,999
固定負債		
退職給付引当金	493,375	500,388
役員退職慰労引当金	89,013	84,089
資産除去債務	219,429	227,401
その他	20,552	39,110
固定負債合計	822,370	850,989
負債合計	1,354,487	1,648,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	242,303
利益剰余金	776,663	208,598
自己株式	79,225	79,274
株主資本合計	2,754,620	2,681,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,575	26,351
その他の包括利益累計額合計	108,575	26,351
純資産合計	2,646,044	2,708,342
負債純資産合計	4,000,531	4,357,332

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	699,126	690,263
受取手形及び売掛金	404,647	537,454
商品及び製品	166,520	170,292
仕掛品	15,229	20,783
原材料	142,224	143,937
その他	76,251	104,502
貸倒引当金	4,710	2,454
流動資産合計	1,499,288	1,664,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	151,762	174,763
その他(純額)	274,309	306,206
有形固定資産合計	426,071	480,969
無形固定資産		
その他	10,431	9,314
無形固定資産合計	10,431	9,314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,010,416	1,162,818
敷金及び保証金	826,217	823,992
その他	342,101	313,847
貸倒引当金	113,996	98,390
投資その他の資産合計	2,064,739	2,202,267
固定資産合計	2,501,243	2,692,551
資産合計	4,000,531	4,357,332
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,766	343,795
未払法人税等	11,178	16,599
ポイント引当金	36,735	32,089
その他	302,435	405,514
流動負債合計	532,116	797,999
固定負債		
退職給付引当金	602,050	621,953
役員退職慰労引当金	89,013	84,089
資産除去債務	219,429	227,401



その他	20,552	39,110
固定負債合計	<u>931,046</u>	<u>972,553</u>
負債合計	<u>1,463,162</u>	<u>1,770,553</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	242,303
利益剰余金	885,339	330,162
自己株式	79,225	79,274
株主資本合計	<u>2,645,944</u>	<u>2,560,426</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,575	26,351
その他の包括利益累計額合計	<u>108,575</u>	<u>26,351</u>
純資産合計	<u>2,537,369</u>	<u>2,586,778</u>
負債純資産合計	<u>4,000,531</u>	<u>4,357,332</u>

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,416,019	3,173,354
売上原価	<u>1,590,692</u>	<u>1,495,449</u>
売上総利益	<u>1,825,327</u>	<u>1,677,904</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,955,858</u>	<u>1,815,389</u>
営業損失( )	<u>130,531</u>	<u>137,485</u>
営業外収益		
受取利息	2,141	1,816
受取配当金	39,189	33,366
受取手数料	10,462	9,425
貸倒引当金戻入額	-	17,861
助成金収入	6,920	26,268
雑収入	13,518	10,670
営業外収益合計	<u>72,232</u>	<u>99,410</u>
営業外費用		
支払利息	415	426
雑損失	4,802	1,487
営業外費用合計	<u>5,217</u>	<u>1,913</u>
経常損失( )	<u>63,516</u>	<u>39,988</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,652	-
資産除去債務履行差額	1,006	-
特別利益合計	<u>2,658</u>	<u>-</u>
特別損失		
固定資産除却損	564	-
固定資産処分損	976	-
投資有価証券評価損	-	2,057
減損損失	450	8,617
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	206,376	-
特別損失合計	<u>208,368</u>	<u>10,675</u>
税金等調整前四半期純損失( )	<u>269,226</u>	<u>50,664</u>
法人税、住民税及び事業税	6,473	21,915
法人税等合計	<u>6,473</u>	<u>21,915</u>
少数株主損益調整前四半期純損失( )	<u>275,700</u>	<u>72,580</u>
四半期純損失( )	<u>275,700</u>	<u>72,580</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,416,019	3,173,354
売上原価	<u>1,586,788</u>	<u>1,495,053</u>
売上総利益	<u>1,829,231</u>	<u>1,678,300</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,949,313</u>	<u>1,828,674</u>
営業損失( )	<u>120,082</u>	<u>150,374</u>
営業外収益		
受取利息	2,141	1,816
受取配当金	39,189	33,366
受取手数料	10,462	9,425

貸倒引当金戻入額	-	17,861
助成金収入	6,920	26,268
雑収入	13,518	10,670
営業外収益合計	72,232	99,410
営業外費用		
支払利息	415	426
雑損失	4,802	1,487
営業外費用合計	5,217	1,913
経常損失( )	53,068	52,877
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,652	-
資産除去債務履行差額	1,006	-
特別利益合計	2,658	-
特別損失		
固定資産除却損	564	-
固定資産処分損	976	-
投資有価証券評価損	-	2,057
減損損失	450	8,617
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	206,376	-
特別損失合計	208,368	10,675
税金等調整前四半期純損失( )	258,778	63,553
法人税、住民税及び事業税	6,473	21,915
法人税等合計	6,473	21,915
少数株主損益調整前四半期純損失( )	265,252	85,468
四半期純損失( )	265,252	85,468

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	275,700	72,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,915	134,927
その他の包括利益合計	35,915	134,927
四半期包括利益	311,615	62,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,615	62,347

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	265,252	85,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,915	134,927
その他の包括利益合計	35,915	134,927
四半期包括利益	301,167	49,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,167	49,458



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,652,725	1,283,935	457,196	3,393,857	22,162	3,416,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,524,970	1,524,970	1,524,970	-
計	1,652,725	1,283,935	1,982,167	4,918,827	1,502,807	3,416,019
セグメント利益又は損失( )	144,475	39,471	8,830	175,116	29,294	145,822

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,116
「その他」の区分の利益	29,294
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	204
その他の調整額	10,804
四半期連結損益計算書の営業損失( )	130,531

~後略~

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,652,725	1,283,935	457,196	3,393,857	22,162	3,416,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,524,970	1,524,970	1,524,970	-
計	1,652,725	1,283,935	1,982,167	4,918,827	1,502,807	3,416,019
セグメント利益又は損失( )	144,650	40,691	12,733	172,608	37,234	135,374

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,608
「その他」の区分の利益	37,234
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	204
その他の調整額	10,804
四半期連結損益計算書の営業損失( )	120,082

~後略~

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,497,707	1,162,892	487,762	3,148,363	24,991	3,173,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,338,649	1,338,649	1,338,649	-
計	1,497,707	1,162,892	1,826,412	4,487,012	1,313,657	3,173,354
セグメント利益又は損失( )	<u>137,756</u>	<u>43,373</u>	<u>15,472</u>	<u>196,602</u>	<u>53,051</u>	<u>143,551</u>

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>196,602</u>
「その他」の区分の利益	<u>53,051</u>
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	1,034
その他の調整額	750
四半期連結損益計算書の営業損失( )	<u>137,485</u>

~後略~

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,497,707	1,162,892	487,762	3,148,363	24,991	3,173,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,338,649	1,338,649	1,338,649	-
計	1,497,707	1,162,892	1,826,412	4,487,012	1,313,657	3,173,354
セグメント利益又は損失( )	<u>140,612</u>	<u>46,792</u>	<u>15,076</u>	<u>202,481</u>	<u>46,041</u>	<u>156,440</u>

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>202,481</u>
「その他」の区分の利益	<u>46,041</u>
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	1,034
その他の調整額	750
四半期連結損益計算書の営業損失( )	<u>150,374</u>

~後略~



(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額	15円97銭	4円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	275,700	72,580
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	275,700	72,580
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,267	17,265

~注略~

(訂正後)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額	15円36銭	4円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	265,252	85,468
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	265,252	85,468
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,267	17,265

~注略~

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座 山 形 屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべ

での重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年2月7日に四半期レビュー報告書を提出した。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。